

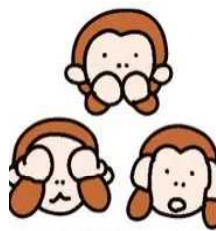


“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/>

令和8年6月③

住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆団体参拝その後と心配事

大本山総持寺への団体研修の後、栃木県にある日光山輪王寺ならびに日光東照宮にお参りました。

左甚五郎作と言われる眠り猫や三猿（見ざる・聞かざる・言わざる）などの彫刻は特に有名です。

また鳴き龍も甚五郎の作と伝わります。眠り猫などは神社である東照宮に存在します。鳴き龍は神社境内にありますが、寺院である輪王寺の薬師堂（本地堂）にありました。



ガイドさんとともに2時間ほどで回りましたが、もっとゆっくり拝観したい寺社でした。

ちよいと心配1 日光市の観光名所「華厳の滝」の水量が少ないというニュースがありました。昨秋からの雨や雪の量が少なかったためと言われています。

さらに、東京都調布市にある天台宗別格本山「深大寺（じんだいじ）」にもお参りました。調布市は渋谷などがある世田谷区の西端と接しており、都心からのアクセスもよく老若男女を問わず多くの人が訪れるところだそうです。



深大寺の名称の由来は、疫病を除き、魔事を遠ざける水神「深沙大王」だそうです。西遊記でよく知られた三蔵法師が仏法を求め

てインド（天竺）へ向かう時、砂漠での難を深沙大王が救った逸話があります。



大般若法会の時、須弥壇に掛けられている当山長安寺の十六善神図にその姿が描かれています。



三蔵法師の対面に描かれ、髪は逆立ち、何かを叫ぶかのように大きく口を開け、憤怒（怒り）の表情という恐ろしい鬼の姿で表されています。

さてこの名物に“深大寺そば”があります。深大寺境内から徒歩圏内に 20 軒を超えるそば店があるそうです。江戸時代にはすでにそばの名所であったようです。それはこの地の土質が稲作には向かない反面、そば栽培に適していたことと、そば打ちなどに使うための良質な湧き水が豊富という背景があったそうです。

ちよいと心配2 水神である深沙大王が由来だったり、豊かな水があるお陰で蕎麦が有名であったり。ただし、お参りした時、境内を流れているはずの水路は干上がっていました。

ちよいと心配3 当山長安寺の観音堂の池が、この時期としては珍しく時おり水が涸れそうになります。（もちろん降雨あれば大丈夫ですが）

「ちよいと心配」を3つ書きました。墓地の井戸は昨夏は一度涸れました。当地だけでなく、今夏、水不足ならねばいいかと願っています。